

すくすくみどり

No.21

元気な庭木を育てる
— 整枝・剪定方法 —



財団法人 札幌市公園緑化協会



はじめに

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に冬の長い北国では花や緑が貴重ですし、四季や室内・戸外を問わずに鮮やかな花と緑があるとただそれだけでホッとしたり、華やかな雰囲気を演出してくれたりします。

この「すくすくみどりNo21」では、こうした花と緑の中でも、庭木の整枝・剪定方法にポイントをしばって解説しています。

庭木は剪定せずにそのままにしていると、枝が込み合って樹冠の中まで光が入らず、風通しも悪くなり、病虫害も発生しやすくなります。樹形を整え、内部の枝まで日光を当てることにより樹木に活力を与え、様々な病虫害から樹木を守るなど、健全な生育のためには欠くことができない大切な作業です。

もちろん書店でもこうしたテーマの本が多く出回っています。しかし、私たちが住む街札幌は気候条件が本州と大きく異なるため、書店で売られている全国向けの園芸手引書ではあてはまらないことも多くあります。

一見、寒い冬の問題などから、札幌は園芸にとって不利であるかのようには考えがちですが、本州方面では栽培が難しい夏の暑さやムシに弱い植物でも、札幌では元気に育ったり、花や葉の発色が鮮やかであったりします。

園芸を楽しまれる方が、この冊子を有効に活用して下さり、花と緑にふれあう環境づくりに少しでも役立てていただくことを願っています。

なお、この冊子の発行は、札幌市都市緑化基金の事業の一環として行なっております。

私たちの街札幌を緑豊かな魅力ある街にするため、札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします。

整枝・剪定

庭木を剪定せずにそのままにしていると、枝が込み合って樹冠の中まで光が入らず、風通しも悪くなり、病虫害も発生しやすくなります。

剪定は樹形を整え、内部の枝まで日光を当てる事により樹木に活力を与えます。また、様々な病虫害から樹木を守るなど、健全な生育のためには欠く事ができない大切な作業で、目的や時期及び剪定方法などを理解して行なう事が大切です。

1 剪定の目的

- ①生育の調節と生長の促進・抑制を行なう。
- ②老木の更新・若返りを図る。
- ③樹勢の回復・強化を行なう。
- ④移植の際の活着を高める。
- ⑤病虫害の発生を阻止する。(通風・日照)
- ⑥庭造りの意図を明確にして、他の植物との調和を図り、庭の風情、顔を整える。
- ⑦果樹類では、摘果等の管理作業の手間を軽減し、品質の良い果実を毎年収穫する。

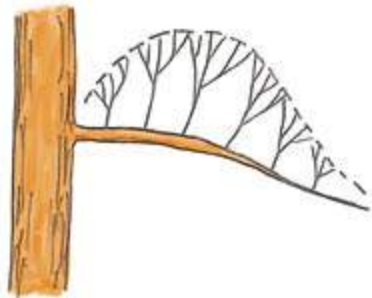
2 樹木生育の基本

- ①樹木は大きく分けると常緑樹と落葉樹があり、両方共、枝に頂芽と側芽が着いており頂芽の方が勢い良く生長します。これを頂芽優勢といい、頂芽を切り取ると側芽が良く発育するようになります。
- ②樹木は生き物であり、長い時間かけて生長していくという点で、基本的には人間と同じです。
- ③樹木は自分で移動できないので、植え付けられた場所の環境に順応して生長していきます。
- ④環境になじまないと、衰弱・枯損がみられ本来の木姿でなくなります。しかし植え付け直後は、貧弱な木でも10年・50年・100年経つと立派な木に生長していきます。
- ⑤樹木は光合成を行ないながら、自分で養分を作って生長しており、樹皮のすぐ下に水分・養分を運ぶ管が存在しますから、樹体を損傷させる事は生長を阻害させる一因にもなるので注意が必要です。
- ⑥枝は、重力と反対方向へ、すなわち上へと高さを求めるようにして生育していきます。又、上向きの枝を強く切り戻すと、高さを取り戻そうとしてさらに強い枝を形成します。これは1本1本の枝にも当てはまります。
- ⑦枝の生理として、上向きの枝の先端の芽は良く伸び、傾斜すると先端の新梢の生育は弱まり枝の背面から新梢が発生し伸びやすくなります。また、水平近くになると幹に近い

枝が上向きの場合先の方が伸びやすい



枝を下に曲げれば幹近くの方に強い枝が出やすい



方の芽が枝先の芽より強くなるなど、枝の角度も新梢の発生と生育に影響します。

- ⑧枝は日当りの良い方向に伸び、同じ樹木であっても北側より南側の方が枝・根とも発達し、光が弱いと枝は節間が伸びて細くなり、極端に弱いと枯れこんできます。
- ⑨生育が活発な時期に強剪定をして、枝を切り葉を減らすと失った葉を取り戻そうとして、休眠していた芽が一斉に萌芽することがあります。これを萌芽復元力といい、樹種により強弱がありますが、生育が活発な時期を過ぎると弱まってきます。

3 剪定の作業手順

- ①樹冠を一周して見渡し、バランスや込み具合をみて、切り除く枝を見極めます。
- ②剪定作業は上部から下部へ降りながら枝を整えていきます。また、大きい枝から始めて、中枝、小枝の順に行ないます。
- ③大きな枝はノコ、小枝は剪定バサミなどで切り口を滑らかに切ります。
- ④大きい枝は必ず裏切りしてから切り落とします。この時ブランチカラーは残します。ここを残せば癒合が早く、きれいに樹皮が巻き込みます。また、切り落とす前に、先に大枝を基部から30cm程度残して切り、癒合組織のできやすい6月下旬から7月初旬に残した枝を切り取っても良いです。

4 剪定の時期

- ①一般に、落葉広葉樹や果樹は落葉してから新芽が膨らむ前まで（10月中旬以降～3月下旬頃）に剪定します。ただしブドウ・モミジ・シラカバ等は水揚げが早いので落葉後の晩秋（11月中旬～12中旬）に行ないます。これらは地温が高いと、この時期でも水揚げしている場合があるので注意が必要です。フジもこの頃に基部から3～4芽残して枝を切り落とします。
- ②春に開花するツツジ・ライラック・シャクナゲ・ユキヤナギ・レンギョウ・ウツギ等や

初夏に咲くアジサイ等は花後直ちに行ないます。花期の長いツツジ類は花が少々残っていても剪定した方が良いでしょう。また、花ガラ摘みも行ないましょう。

- ③マツ類の緑摘みは、6月上旬頃までの新芽が手で折れるまでの間に行い、剪定は8月中旬から9月中旬までに行ないます。
- ④夏季の大枝降ろしや強度の剪定は、光合成を抑えて根の発達が阻害されますので注意が必要ですが、新梢が多い時や樹勢が強い徒長枝の発生が多い場合はある程度整理します。
- ⑤樹種ごとの解説が別に掲載していますので参考にしてください。

5 剪定の基本

整枝・・・主幹、主枝など樹木の骨格となる枝を整え、目標とする樹形を作ることで、落葉広葉樹では、冬期に行なうのが普通です。

整姿・・・樹形を整えていく事で、各剪定方法により行ないます。夏期の剪定が主体です。

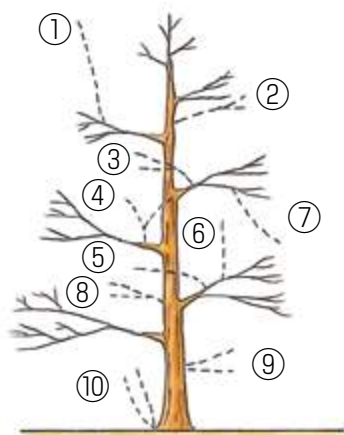
剪定・・・整枝・整姿の目的に沿って枝を切り除く事で、ノコやハサミを使用して作業を行ないます。

基本的には、毎年の剪定により樹形を整えていく事が肝心です。また、数年に1回の剪定では樹体に負担をかけやすい剪定となりやすいので注意が必要です。

樹冠を上部・中部・下部に分け、枝葉の割合を1：2：3で残す様にと美しく仕上がります。

次に剪定の方法を述べてみます。

下図①～⑩は不要な枝ですが、樹木全体の枝つきのバランスによっては、病枝・枯枝以外、要らない枝でも残す場合があるので、2～3年後の木姿を思い浮かべながら剪定をすることが必要です。



- ①徒長枝・・・樹冠からはみ出る枝。
- ②平行枝・・・幹から同じ方向に上下に出る枝。
- ③絡み枝・・・不規則に伸びる枝で樹形を乱す。
- ④ふところ枝・主枝の内側にあり比較的弱い枝。
- ⑤逆さ枝・・・木の幹の方向に向かって伸びる枝。
- ⑥立枝・・・幹と平行に上に伸びる枝。
- ⑦下り枝・・・枝から地上に向け下がった枝。
- ⑧枯枝・・・枯れている枝。
- ⑨胴吹枝・・・幹の途中から吹出す小枝。
- ⑩ひこばえ・・・根元から無数に出る小枝。

その他、かんぬき枝（上から見て180°方向に出ている枝）は片方を切り落とす。

6 剪定方法

①切り戻し剪定

毎年手入れして、庭木の大きさを一定にする為の基本的剪定方法。

樹冠の大きさを縮小する時や見苦しくなった枝を新しい枝に切り替えて更新する為に行う剪定です。

長い枝の途中から分岐した短い枝を残し切り取ります。この時、残す枝と平行に切り口角度を取ります。

②切り詰め剪定

枝の途中で切り、枝を短く切り詰める剪定方法。

この場合、適切な位置と角度で切り詰めないと、切り口から枯れこむ事が多く、また、大枝で切る場合は切り口から不定枝が多く発生するので、翌年枝数を整理する必要があります。大枝を切った場合は必ず癒合剤等で防腐処理をします。

③枝抜き剪定

込み過ぎている枝を間引く剪定方法。間引き剪定ともいいます。

この場合、不要な枝から取り除きます。

④枝おろし剪定

大枝や不要な枝を主幹との付け根から切り取る剪定方法。この時、正しい切り方をしないと、病虫害や腐朽の原因となり樹勢の衰えや倒伏の要因となりやすいので注意が必要です。

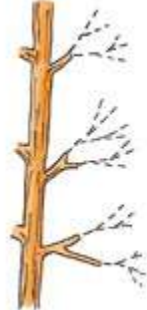
この場合は、必ず2段切りとし、切断位置は枝組織と幹組織が混ざり合っているブランチカラーの所で切り落とします。フラッシュカットは厳禁です。

切口処理として、癒合剤やチオファネートメチル剤等を塗布します。

①切り戻し剪定



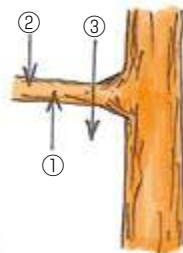
②切り詰め剪定



③枝抜き剪定



④枝おろし剪定



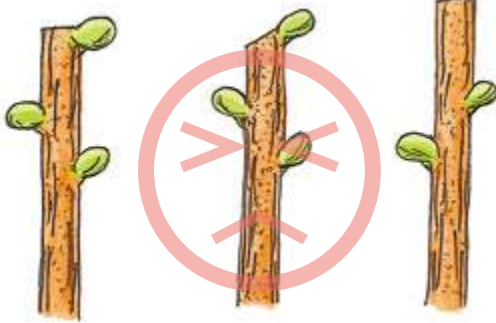
①・②・③の順番にノコ目を入れて切る。

以上から、①～③の組み合わせにより剪定し、樹形を整えていきますが、④は最後の手段の作業と考えた方が良いでしょう。

基本的剪定方法

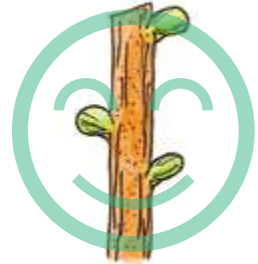
(悪い切り方)

芽の近くで切る 深く切り込む 切る位置が高い



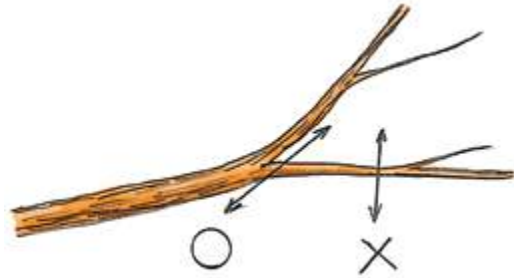
(良い切り方)

芽の上3~5m/mで
芽の方向に切る



細い枝を切る場合

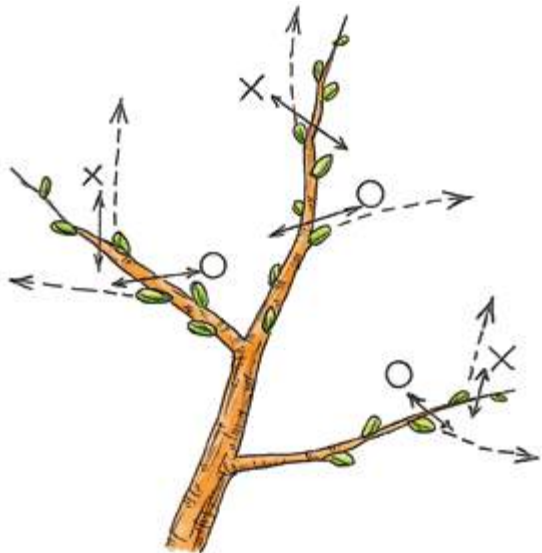
×部で切ると残った部分は枯れ
込むか、不定芽を出すので必ず
○部で切り取ります。



普通に枝を伸ばしたい場合

枝を外側に張らせるためには○
印で切ったほうが良いです。

上側の芽は立ち枝になりやす
く、下側の芽は下がり枝になり
やすいので、なるべく側芽を残
すようにします。



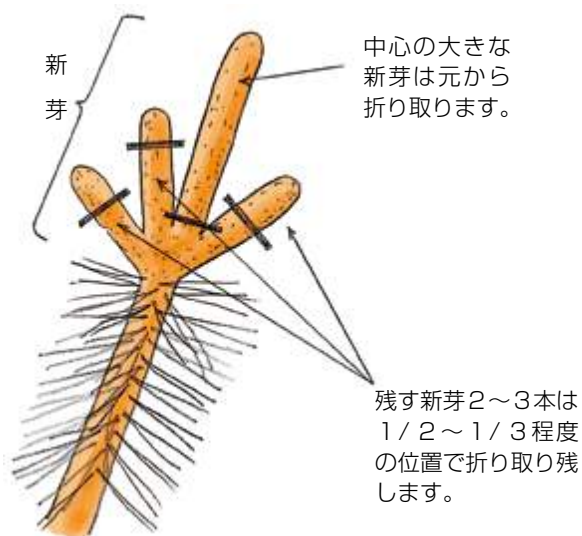
7 樹種ごとの剪定方法

1 マ ツ

- ・マツの剪定も基本的には他の樹木と変わりませんが、「ミドリ摘み」、「剪定」、「葉むしり」と3つの主要な作業が必要になります。
- ・樹形が崩れている場合は、大枝を切る等急激な剪定をしないで2～3年かけて樹形を整えます。
- ・上下同じ方向に出ている枝は、上の枝を切り取り日光が万遍なく当たるようにしますが、枝によっては下の枝を切る場合もあるので枝振りに注意しましょう。
- ・ハサミを使う場合は、葉をなるべく傷めないように、刃を立て内側に入れるようにして切ります。
- ・枝透かしする場合は、三つ又の芯を抜いていく方法もあります。
- ・アカマツはクロマツに比べ、萌芽力が弱いので剪定する時は強く切り込まない方が良いでしょう。
- ・古いマツカサや今年のマツカサは全部取るか見苦しくない程度に残します。
- ・若い枝ほど芽着きは良くなります。また、長く伸ばしてしまった枝の途中で芽を出させたい時は、必ず葉を残して切ります。

「ミドリ摘み」(マツの新芽をミドリと呼びます)

マツの新芽を折り取る作業で、小枝を出させ枝と枝の間隔を狭くし、枝葉を密にさせる作業です。ただし、枝を伸ばしたいときは中心の新芽を残し、枝分かれを早くさせたいときは全部残します。北海道では、5月上旬～6月上旬が適期で、6月下旬位まで作業は可能です。



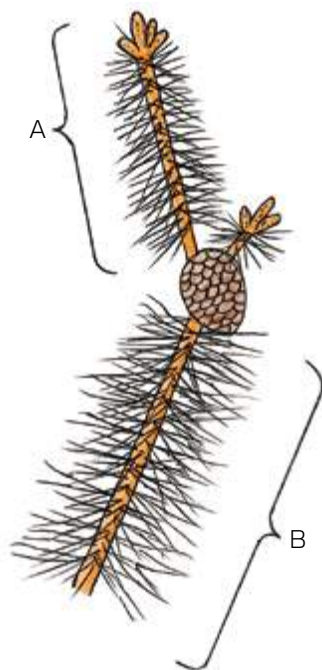
「剪定」

マツは不定枝を出しませんから、剪定の時期、剪定する場所に十分注意して作業します。

北海道の場合、8月いっぱい、新芽は充実した枝になっていないので、古い枝はまだ活躍しています。

図のBの位置で切っても良いですが、9月以降は、新芽が充実してきて、勢力がBからAに移りますからAで切り取った方が無難です。

北海道では、8月中旬～9月中旬頃が良く、土用後は余り切らない方が良いでしょう。芽のないところで切る場合は、必ず葉を環状に残して切ると、芽が出てくる可能性が高くなります。



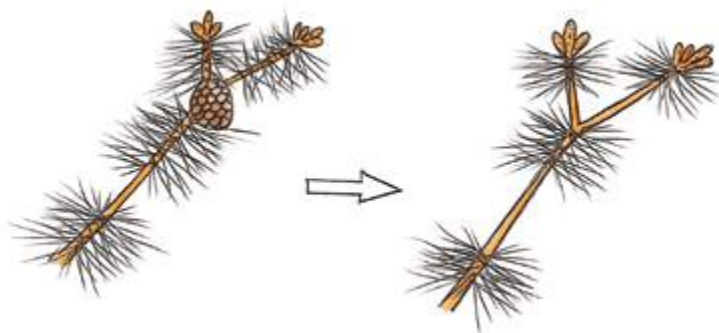
「葉むしり」または「葉もみ」

葉が多すぎると日照、風通しが悪くなり、病虫害が発生しやすく、日当たりが悪くなると萌芽力が弱くなります。

秋口（9月下旬～10月中旬）に北海道では先端部を多めに残すようにしますが、毎年する必要はありません。春先の葉むしりは樹皮を傷める事があるので注意しましょう。

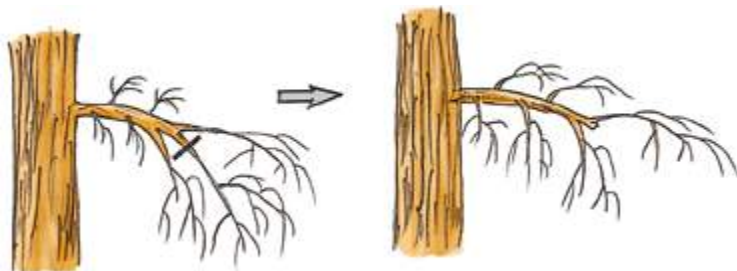
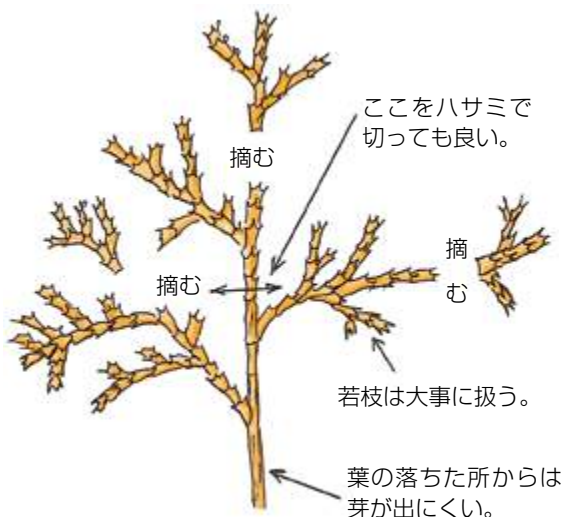
葉は環状に残し、葉量は1/2～1/3位残します。

クロマツは葉を押えて、しごくように両手でむしり、アカマツは、葉を下のほうに引っ張るようにしてむしると作業がしやすいです。



2 ヒバ類

- ・なるべく刃物は使わず手で摘み取ります。
- ・ニオイヒバは刈り込む事が多いのですが、刈り込みを多くすれば枝葉が繁りすぎるために、枝を間引く作業も必要になります。
- ・葉のない枝は、不定芽を出さないで必ず葉を残して剪定します。
- ・剪定作業は、秋口が適期とされていますが、10月上旬位までに終わらせたほうが無難です。秋遅くの深切りは避けたほうが良いでしょう。
- ・イトヒバも同じですが、枝の先端部を切る事により、幹に近い方の小枝が伸びてきます。



3 イチイ (オンコ)・キャラボク

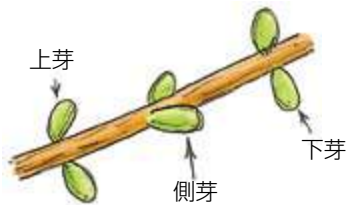
- ・常緑針葉樹で雌雄異株です。北海道では常緑広葉樹の庭木が少ないので多く使用されています。
- ・刈り込みによる剪定は1年に2~3回行い、春の刈り込みはやや強めに刈り込んで良く、夏以降は樹冠線を整える程度にし、徒長枝や絡み枝を取る必要があります。
- ・刈り込みは9月上旬までに葉のある部分で切り込みます。
- ・イチイは萌芽力が強いので、比較的どこで切っても芽は出ますが、小枝を残して剪定すると木姿が軟らかくなります。
- ・枝数が多い場合は、枝を交互に間引いて枝数を減らすこともできます。
- ・少し下がり気味の枝を生かして剪定すると木姿が美しく見えます。

- ・新芽は手で摘んでやると、葉先を傷めないで軟らかい感じで仕上がります。
- ・刈り込みバサミで刈るとやや硬い感じに上がり、葉を切ってしまうので少しの間葉先が赤く傷みます。
- ・イチイとキャラボクの見分け方として、イチイは、一般に葉身が尖っており2列に並んで、直幹の円錐形や自然仕立てになりやすく、10～15m位になります。キャラボクは、一般に葉が円味を帯びてラセン状につき、1～2m位の低木になり、多幹状になりやすく半円球仕立てや曲幹仕立てに向きます。



4 モミジ・カエデ類

- ・枝葉は対生で規則正しく枝分かれますが、自然に任せておくと葉が繁りすぎて、ふところ枝が枯れこんでいきます。
- ・剪定時期は、8月中旬以降で、太い枝を切る時又強剪定する時は落葉してから行いますが、落葉してからも地温が高いと水揚げしている場合があるので、強剪定する時は注意が必要です。
- ・水揚げが早く、2月頃までには水が頂芽まできているので、春先の剪定は好ましくありません。
- ・枝の途中で切り落とすと、次の枝や芽の所まで枯れ込んでくるので、小枝又は芽のすぐ上で切るようにします。
- ・切り戻し、枝抜き剪定を行い、樹形を見ながら、対生する枝を交互に間引き、枯枝・逆さ枝等を切り、夏に出た徒長枝は元から切るか切り詰めます。
春先に剪定したり、不適期に強剪定すると枯れこんできたり、胴吹き枝や不定枝が出やすいので注意しましょう。
- ・芽は側芽を残すようにして、枝がなるべく横に広がるように剪定します。



枝の作り方によっては、上芽を残す場合もあるので、枝方向を見ながら剪定します。

- ・自然の形を保つために、枝の途中から切らず他の枝との分岐点で切ります。

枝抜き前



対生の一方の枝を切り互生の形に枝抜きします。



---部を切る。

樹冠外や長すぎる枝を短い枝と切り替えて、込みすぎた部分の枝を間引きます。



前年枝の枯れ枝

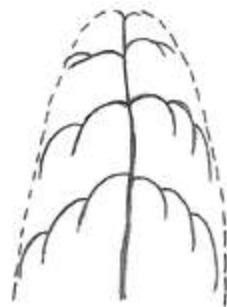
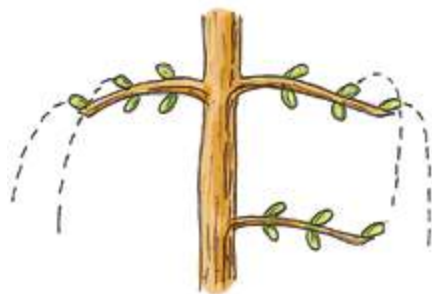


古い枝の枯れ枝

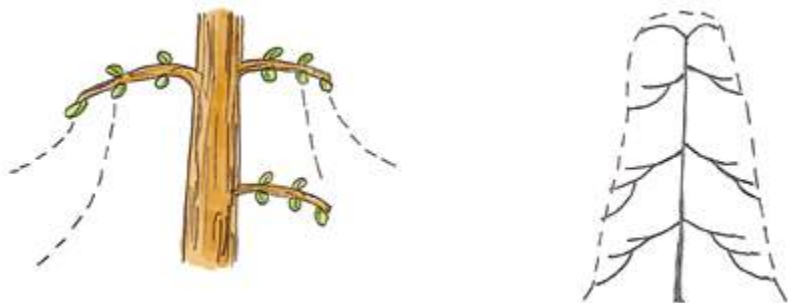


- ・シダレモミジの場合

上芽を残して自然に枝が垂れてくるようにすれば傘状になります。



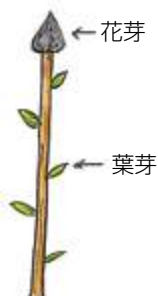
下芽で切ると直下や内側に伸びるのでゴツゴツした感じになってしまいます。



5 花木類

- ・花木は一般に花を主体に観賞するものですが、花芽のつく形がいろいろあります。下図のようにA・B・Cのタイプが代表的です。
- ・剪定する時に、この木はどのタイプに属するかを普段から注意して、観察することをおすすめします。

Aタイプ
頂芽が花芽になる



Bタイプ
頂芽とその下の2~3
芽が花芽になる



Cタイプ
側芽が花芽となる



Aタイプ・・・ツツジ類・ツバキ・モクレン・トチノキ・ハナミズキ等

Bタイプ・・・アジサイ・ボタン・ライラック・ムクゲ等

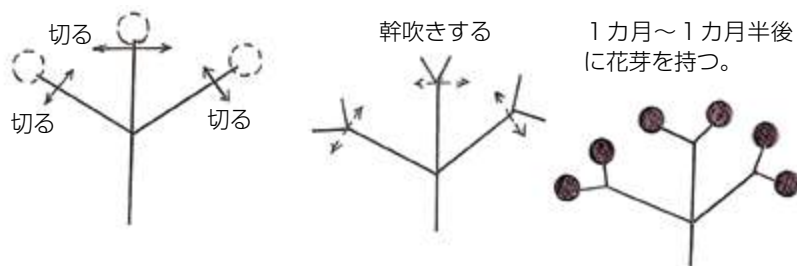
Cタイプ・・・ウメ・モモ・サクラ・ユキヤナギ・コデマリ・ボケ・トサミズキ・レンギョウ等

- ・ほとんどの花木は、花が終わった後約1カ月～1カ月半位後に来年の花芽がつきます。これを花芽分化といい、花後1カ月～1カ月半以内に切り込むのが最適です。多くの種類は、その期間内に切っても新芽を幹吹きして、花芽を切り込む心配はありません。
- ・この時期以外の剪定は、花の数は減らしても、大きな花を咲かせるつもりで、間引き剪定を行います。
- ・次に比較的分かりやすい花木の剪定を模式図で説明します。

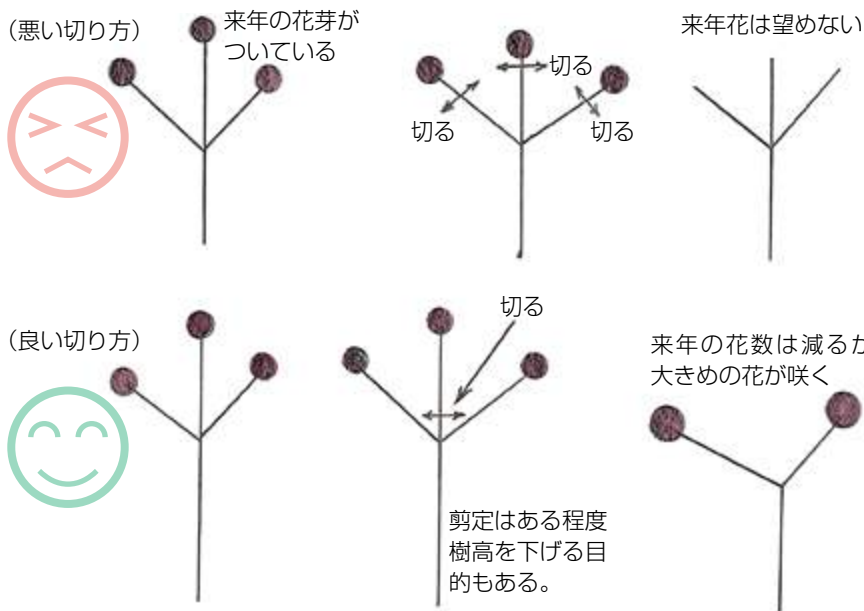
Aタイプのツツジを例にとります。

頂芽が花芽になる木です。

①花が終わってすぐ切る



②花が終わって1カ月～1カ月半後に切る。

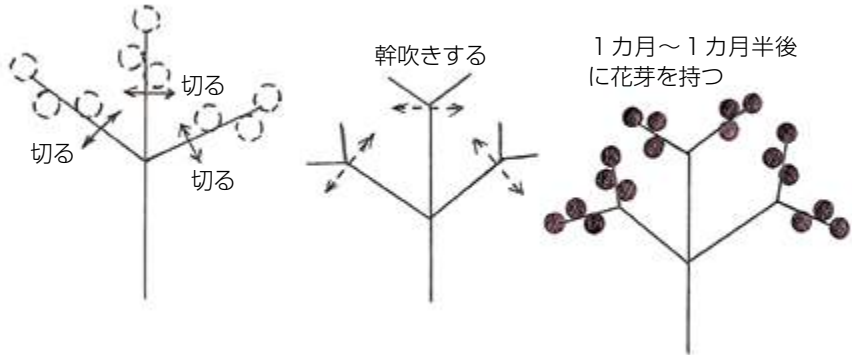


ただし、①の場合、樹種によっては幹吹きしにくい樹種もあるので注意が必要です。

Bタイプのライラックを例にとります。

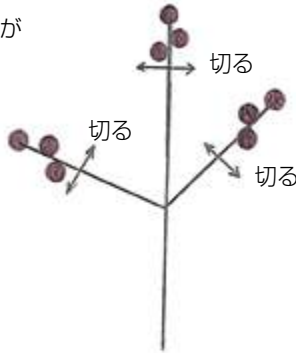
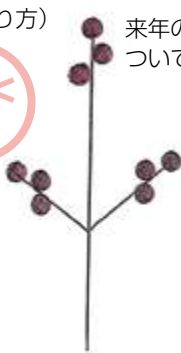
頂芽、その下の2～3芽が花芽となる木です。

①花が終わってすぐ切る。



②花が終わって1カ月～1カ月半後に切る。

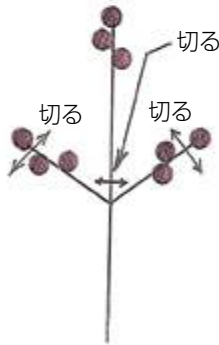
(悪い切り方)



来年の花は望めない



(良い切り方)



来年の花数は減るが
大き目の花が咲く

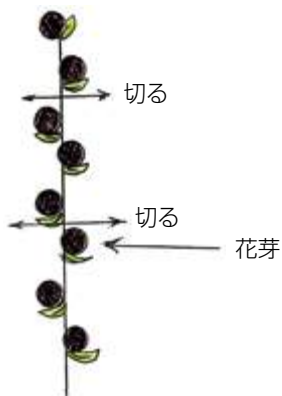


ただし、①の場合、樹種によっては幹吹きしにくい樹種もあるので注意が必要です。

Cタイプのカムカムを例にとります。

側芽が花芽となる木です。

時期を選ばず、ある程度自由な所で切れます。また、来年花の数は減っても大きめな花が咲きます。したがって、このタイプの樹種は剪定がしやすい木といえます。



- ・繰り返しますが、花が咲いているとき、この樹種は、どのタイプに属するかを良く知る事が肝心です。
- ・毎年花を咲かせ、実をつける事は、動物におき換えれば毎年子供を産んでいるのと同じ事になる訳で、苗木を植えて数年後に花木の良さを望むのであれば、思い切って切り込み、翌年は花を咲かせないような処置も必要になってきます。
- ・隔年とまではいかなくても、数年に1回は花を我慢して木姿を作っていく事も必要でしょう。少し多めに切り込みする事は、その木の寿命を延ばし、良い花も期待でき、樹形も過度に大きくならず、幹も太くなっていくはずで。本当に花木をよくするには、適期における適度な剪定が必要になってきます。
- ・花木だけではなく、多くの花が咲いたり、多くの実をつける事は樹体を弱らせる原因にもなります。
- ・樹体が弱ってきてても、このような現象が現れてきますので、いつもの年より花が多くついた実が多くついたと喜んでばかりはいられません。このような場合は、専門の機関に相談をされた方がよろしいでしょう。

(1) 春咲く花木

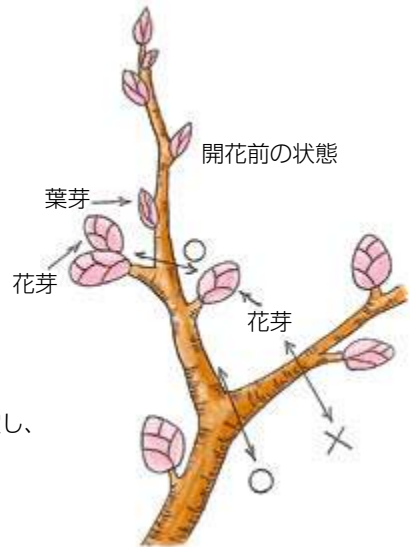
① サクラ

病虫害に弱く剪定を嫌います。

昔から「サクラ切る馬鹿、ウメ切らぬ馬鹿」というくらい切口の巻き込みが行われにくい
ため、病原菌が侵入しやすくなります。

枝を切り詰める場合は最小限にして、枝を切る時は、枝の付け根からきれいに切り取り、
切口に癒合剤、チオファネートメチル剤等を塗布します。

枯枝、ひこばえ、立枝、逆さ枝等を主体に剪定し、なるべく自然な形に育てましょう。



② ライラック

日照を好み冷涼地に良く生育し、陽向地を好み日陰地では花つき、生育とも良いとはいえません。

ライラックは、前年生枝の先から2～3芽までが花芽となり、花芽分化は7月～8月の間です。この頃に枝葉が伸びていると、勢力がそれらに取りられ花つきが悪くなるので、花が終わってすぐに剪定・枝抜きをします。

太く充実した枝にしか花芽はつかないので、この頃までに枝葉の成長がほぼ終了していなければなりません。

右図のように枝を切る時は、○印の所で切ります。

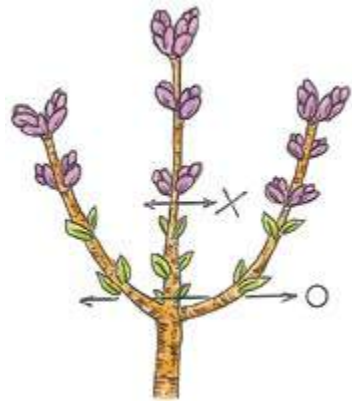
×印で切ってもその下の芽は元気良く伸びないので、花の終わった直後が良く、花ガラは、早めに基部から切り取ります。

樹形を小さくしたい場合は、側枝を残して立枝を切り戻します。また、ふところ枝やひこばえも切り取ります。

一般にイボタノキに接木したものが多く、ひこばえに元木のイボタが出てくる場合もあり、手入れをしないとイボタに替わる事があるので注意しましょう。

枝数を増やしたい時は、少し強めに切り戻しますが、小枝や芽のない所で切ると、不定枝が出やすくなり、枯枝になりやすいので注意が必要です。

樹勢が弱い時は、花数を減らし小枝が交互に出るように剪定します。



③バ ラ

温帯性の落葉灌木ですが、耐寒性があり北海道でも数多く栽培されています。

剪定は発芽前が良く、前年枝から新芽を伸ばして花をつけるので、この前年枝に3～4芽残して上部を切り戻し、強剪定をする形をとります。風通しや日当たりに十分考慮した枝数にする事と、残す芽は外芽にする事です。

各枝のバランスを見ながら剪定し、特に弱い枝や枯枝は取り除きます。

秋口の剪定は、春から伸張した枝の1/3位で切り、1枝に葉を3枚以上残すように弱剪定とします。ツルバラも基本は同じですが、アーチに結びやすいように枝を作っていく配慮をした方が良いでしょう。

④カイドウ

春、花が終わり伸びだした新枝が伸長を止めた頃を見計らって、1/4位切り戻します。枝数を増やしたい時は、5～6年生の古枝でも、芽の有無にかかわらず切り込んで切口から不定芽を出す性質があるので大丈夫ですが、翌年に不定枝を整理し樹形を整えるようにします。ただし、花芽分化した後は切らないようにしましょう。

秋口の剪定は、秋芽の位置を良く確かめてから、徒長枝だけを1/3位切り戻します。カイドウも強剪定すると強い徒長枝が出やすいので、なるべく小枝を残して剪定するようにします。また、花芽のついている短枝はなるべく残し、花芽のない長枝は2～3芽残して切り詰めます。

⑤ユキヤナギ

庭木に使う場合、なるべく背丈を低くした方が存在感のある樹木なので、花が終わった後、花芽分化の前に伸びすぎた古枝を切り透かしたり、暴れた枝を切り戻すようにして整えていきます。

刈り込みバサミで刈り込んでしまっただけでは、本来の良さを失ってしまいます。

風にそよぐ風情を感じるために、古株と新梢の新旧交代を行っていく事も必要です。

花が終わった後の剪定後は、枝先の切り戻しは避けましょう。

⑥レンギョウ

花が終わった後、枝を詰めて丈夫な枝を出させると、頂芽にも側芽にも花芽をつけますが、込みすぎた枝は、切り戻すより切り取って枝数を減らした方が全体の調和がとれます。特に刈り込みしている場合は、頭部にだけ枝数が増えるので間引き剪定が必要となります。株を小さくする場合は、花が咲き終わった直後に全体を強く切り戻し、古枝は地際から切り取り、若枝と交代させます。

⑦ ツツジ類

花が終わるとすぐに新梢を伸ばし始め、生長の止まった枝の頂点に花芽をつけるので、花が終わったらすぐに新梢を切り詰めます。

ツツジ類は3～7本位の新梢が車枝状に伸びるので、1～3本位間引き剪定します。2年生枝を切り戻しても、すぐ切口付近から2～3本の不定枝を出す性質があるので、枝数を増やしたい場合は利用すべきでしょう。

夏後半になってから強く枝を切ると貧弱な枝となり、翌年の花芽はつかず徒長枝になってしまいます。

落葉性のものは、枝振りを生かした自然形仕立ての方が面白いものです。

⑧ シャクナゲ

同じツツジ類の仲間でも、枝分かれが少なくどこから切っても萌芽するというものではありません。そのため、刈り込みによる整枝は不向きです。

花が咲き終わったら、早めに花茎の元から切り取り、新芽の発生を促すようにします。枝を切り詰めたいときは、芽のついた小枝や腋芽の上で切り戻します。

芽がついてない古枝の中間部で切ると、新芽の発生は見られず枝が枯れ込んでくる事が多いので、注意しましょう。しかし、一部の品種では、萌芽力が強く切り込みに耐える種類もみられます。

苗木の内から開花させるよりは、樹体をしっかり作ってから開花させた方がいいようです。また冬場の緑の葉を觀賞するために、わざと花芽をもぎ取る事も行われています。

⑨ ボケ

花が終わってから伸び始めた枝は、不要枝以外は9月いっぱいまで放っておき、落葉後に花芽の着き具合と枝振りを良く見て、伸びすぎた枝だけを切り戻しますが、あまり整った姿にしない方が風情があり、むしろ衰弱した枝や枯枝を切り透かす事に重点を置く方がボケらしい感じができます。

生育旺盛で萌芽力が強く、樹冠を同じ大きさに保ちたい時は、2～3年に1回、強く古い枝まで切り取ります。

刈り込みより、ハサミで間引き剪定をした方が形を整えられます。

秋に花芽の少ない今年枝を切り取るようにします。



ボケの花芽は2年生枝と本年枝の元の方に着く。

⑩ウ　　メ

花が終わった後、各枝の新芽が一斉に伸長し始めます。しかし、そのまま伸ばしていくと、その枝の基部とそれに近い芽は動かず、側芽がすぐ伸び始めるので、この枝を来年花を咲かせる枝とします。密生した徒長枝は、元から切るか30cm位に切り詰めます。特に、1m以上の徒長枝には花芽はほとんど着きません。さらに、花の咲いた枝で弱々しい枝は、10~20cm位に切り詰めて更正させます。

花芽は8月頃に分化し、12月過ぎには花芽と葉芽を見分ける事ができるようになります。花芽分化が終わったら、葉がいくらか内側に反った感じになります。

剪定は、枝が下垂しないように、上芽または側芽でやや斜め上方を向いている芽を残して切るようにし、下枝が日陰になるような枝は取り除きます。また、短果枝や中果枝に充分光が当たるようにして、結果部を維持します。

夏の強剪定は、葉を落とす事になり樹勢を低下させる事があり、また、強剪定は根を衰弱させる場合もあるので注意が必要です。

ウメは日陰に弱く短果枝等が枯れやすいので、主幹部まで日照が入るように枝を透かします。果実は5~15cm位の短い枝に着くので、短果枝、中果枝を沢山出させるようにします。

ウメは萌芽力が強いので自由に切ることが出来る樹種の1つです。

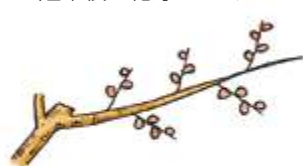
3~4芽残して切る



春から夏にかけて
新芽が伸びる



短果枝に花芽がつく

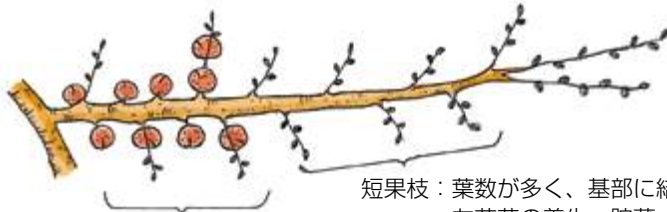


ウメの実の着き方

翌年の状態

今年の状態

前年の状態



新梢
結果部の拡大維持
に役立つ。

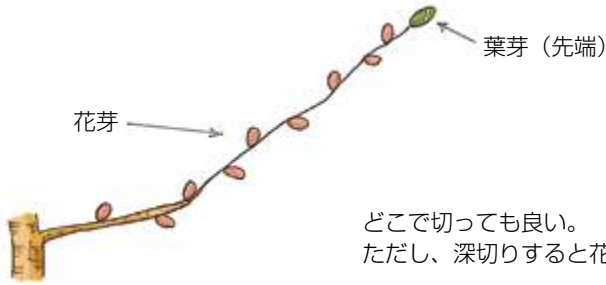
短果枝：葉数が多く、基部に結実した果実の肥大に役立ち花芽の着生・貯蔵・養分の蓄積に役立つ。

結果枝（短・中果枝）

前年着生した花芽が早春に開花結実する。

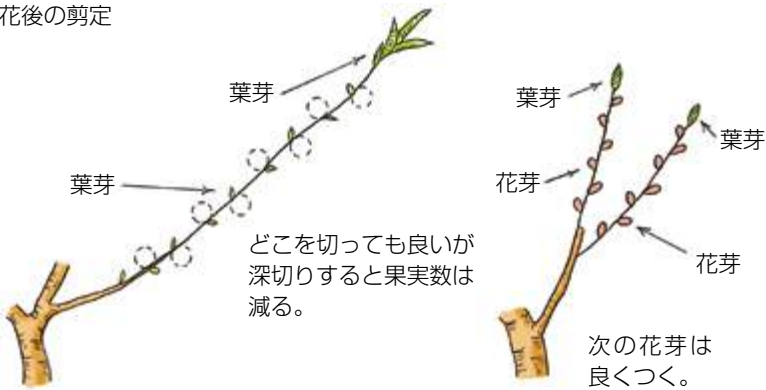
若い結実枝には良く結実し、葉数も多く果実の肥大も良い。

開花前の剪定（秋～冬）



どこで切っても良い。
ただし、深切りすると花数は減る。

花後の剪定

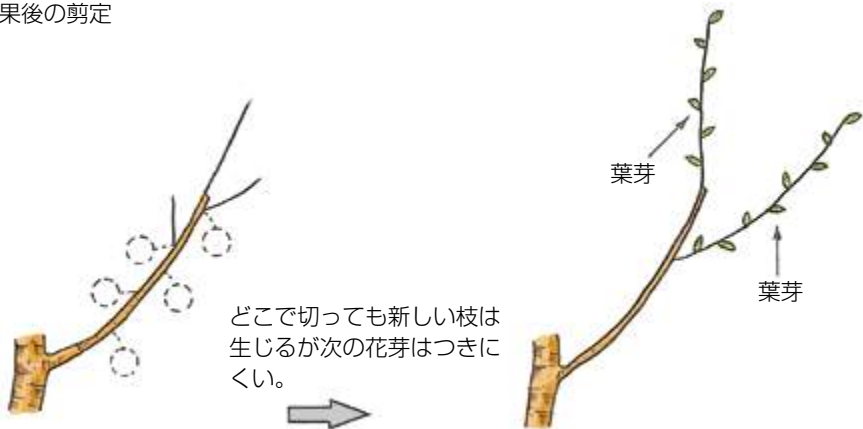


どこを切っても良いが
深切りすると果実数は
減る。

次の花芽は
良くつく。

古い枝を切っても良く芽を
出し、次の花芽は良くつく。

果後の剪定



どこで切っても新しい枝は
生じるが次の花芽はつきに
くい。

①オオデマリ

母種はやブデマリで、似たものにテマリカンボクやカンボクがあります。

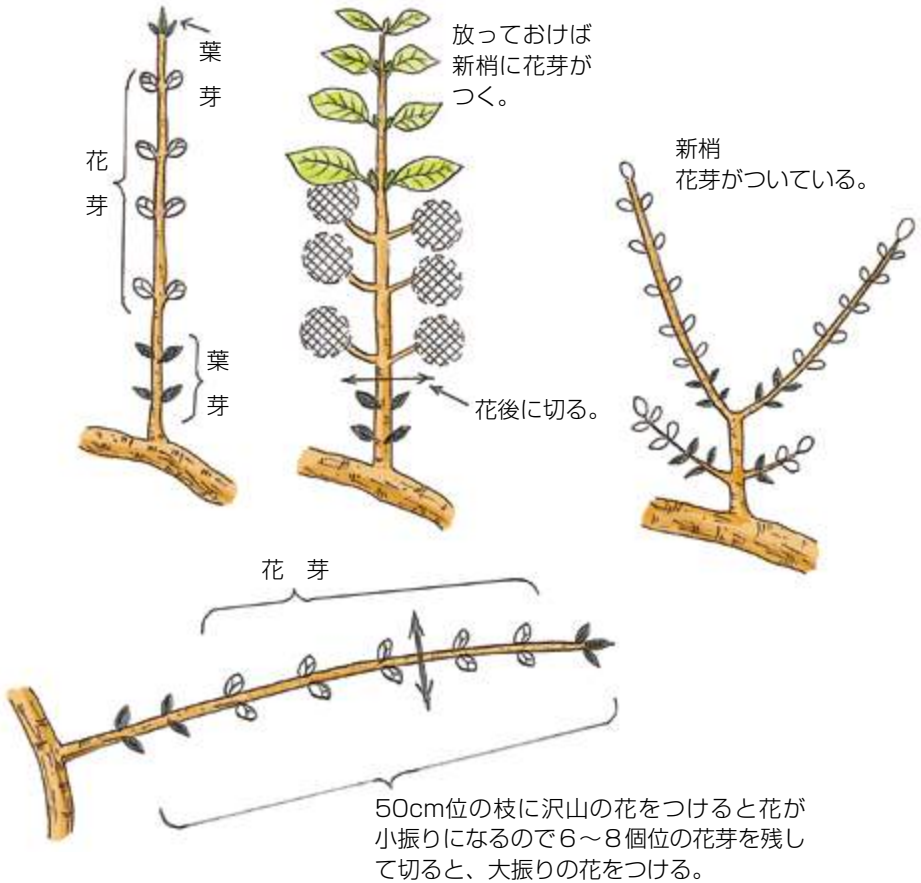
虫害を受けていない木はほとんどないくらい、虫のつきやすい木です。

萌芽力は中程度で、強剪定はなるべく避けるようにします。

花芽は今年伸びた枝の葉腋に分化し、翌春、その芽が伸びた先端に花がつくので、花が咲き終わった直後、花がついた枝先を切り戻します。

夏に伸びた徒長枝は、花つきが少ないので、枝張りを見て秋から冬に剪定します。

節の短い枝に花芽がつきます。

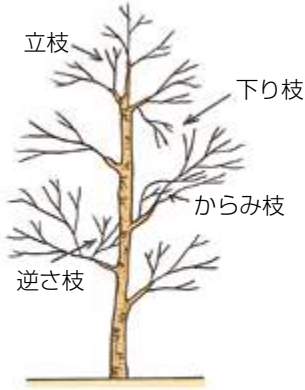


⑫モクレン (ハクモクレン・シモクレン)

不要枝を取り除く

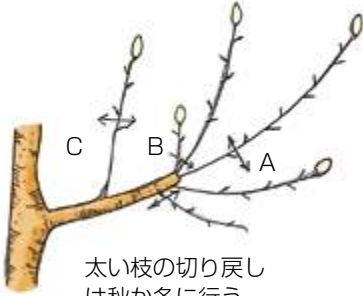
円筒形仕立てが普通

シモクレンは株立になりやすい。

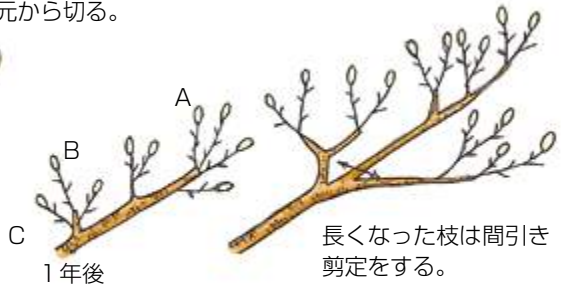


太枝を切り戻した後に
出た前年枝 (ABC)

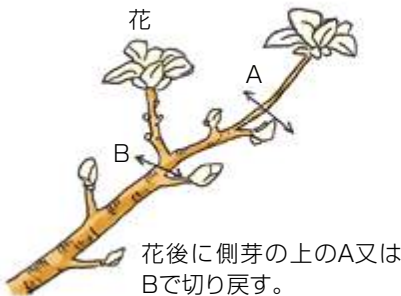
上に伸びる徒長枝
は元から切る。



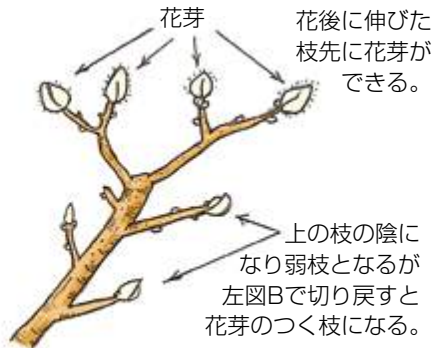
太い枝の切り戻し
は秋か冬に行う。



長くなった枝は間引き
剪定をする。



花後に側芽の上のA又は
Bで切り戻す。



花後に伸びた
枝先に花芽が
できる。

上の枝の陰に
なり弱枝となるが
左図Bで切り戻すと
花芽のつく枝になる。

⑬ポタン

花が終わり、散る前に花首の所で切り取ります。

花が終わった後、そのままでは今年枝の先から2～3芽までが翌年の花芽となり、枝の伸びに比べ、枝の肥大が小さいので間延びした感じになりやすくなります。

がっちりした樹形にするためには、腋芽が見え始めた頃に、本葉3～4枚残し、上の腋芽をかき取るようにすれば、下の腋芽が充実して花芽分化を促します。

秋になると、花芽と葉芽の区別がつけやすいので花芽の上で切り取れます。

シャクヤクの台木に接木したものが多く、台芽やひこばえはなるべくかき取るようにします。

(2) 夏咲く花木

①アジサイ

花芽分化は10月～11月ですが、6月～8月位まで次々に花をつけるため開花中の枝（昨年度に出た枝に花をつけます。）は、北海道では花が終わる頃には、花芽がついています。そのため、8月頃の花が終わった後に強剪定すると、花芽を切ってしまう来年の花は望めなくなります。

強剪定する時は、3～4分咲きの頃に切り詰めて切花にするか、その年の春先に切り詰めて次の年の花に期待するようにします。

古い3～4年生の枝は、根元から切るようにします。

花を楽しみながら株を小さくしたい場合は、1/3～1/2を思い切って根元から切り、次の年に残りを根元から切り詰めます。この場合、来春、新梢を出させるために秋～根雪前に行います。

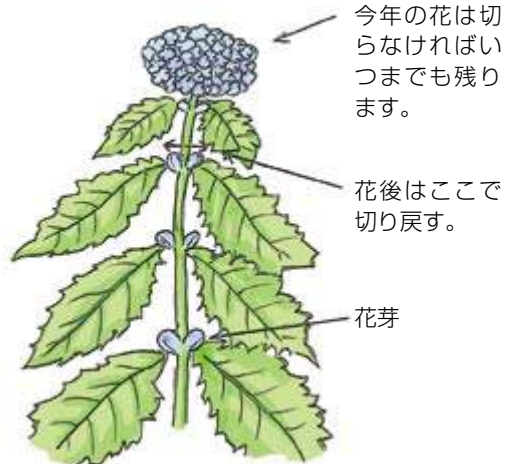
花殻は花が終わってすぐに上から2～3節の所で切り取ります。

枝の先端の芽が大きく膨らんだものは出来るだけ残します。

花を切ると上の芽が伸びだします。

秋～冬にかけて花芽を確認しながら切り戻します。

アジサイは刈り込みしないで、間引き剪定で古枝や葉芽だけの細い枝を切り取るようにします。

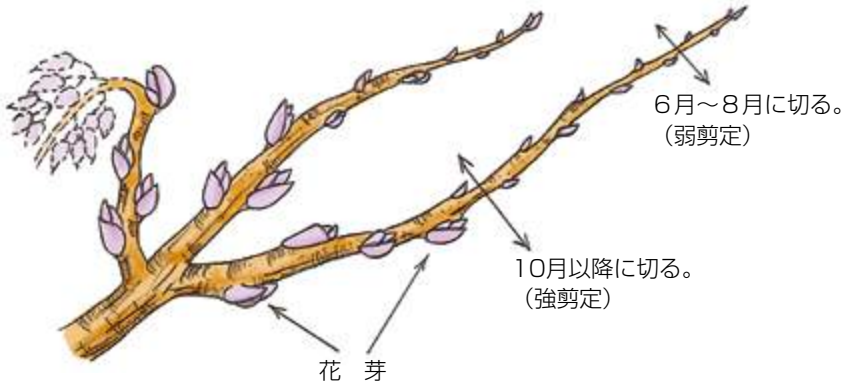


②フジ

剪定は、短枝を大事にして、花芽分化後、晩秋から根雪前に基部から3～4芽残して切ります。

花ガラは早めに切り取り、なるべく実をつけないようにします。

夏に枝を深切りすると、花芽となるはずの芽が秋までに伸び出してしまい、花を持たなくなるので、夏の剪定は邪魔になる伸びすぎた枝先のみを切るようにします。



③ムクゲ

朝開いた花は夕方半開きになり、2～3日これを繰り返して散っていきます。

大きく育てるより、こじんまり作った方が見やすいので、落葉後に枝を短く切り戻すと、翌年、新梢が伸び出しまとまってきます。

ムクゲは新梢に花をつけるので剪定は比較的楽にできます。

萌芽力が旺盛で強剪定にも耐えるので、古い枝を間引いて充実している枝を残すようにし、立枝を切って側枝を伸ばすようにすると低くまとめる事ができます。

花芽は、前年枝の頂芽とその下数個の腋芽に形成され、その芽から伸びた新梢の先に花が咲くので、枝先を全部切り戻すと花芽も切る事になるので注意します。

④ナツツバキ

自然樹形が美しい木の1つで、枯枝や重なり枝を切り取る位で十分ですが、少し切り詰めたい場合は側枝を残して、伸びすぎた枝を切っていきます。

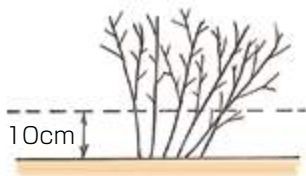


側枝のない所で切ると、枯れ込むか不定枝が出やすいので木姿が乱れてきます。

(3) 秋咲く花木

①ハ ギ

根元から10cm位の位置で刈り込んでしまう。



刈り込み後に伸びた二番枝に花が低く咲く。

秋の風情を作るために、なよなよしたい細い枝にします。太枝にするよりも、細い新しい枝を毎年出すようにした方が美しく仕上げられます。

方法としては、本年枝が50～60cmになったら10cm位で切り戻します。

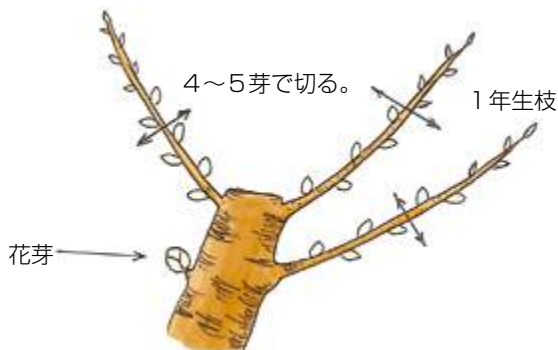
刈り込みバサミで刈り込んでも良いですが、水平に刈り込まないで、むしろ荒っぽく適当に高低をつける方が野性味を出せる様です。二番枝は、春の新梢ほど伸びませんから低い位置で花をつけます。

冬期は、地上部が枯れてしましますが、枯れ残った一部の枝から翌年枝が伸びだす地方では自然に樹高が高くなりますから、落葉後、根元から切り取る方が良いでしょう。

6 果樹類

①ナ シ

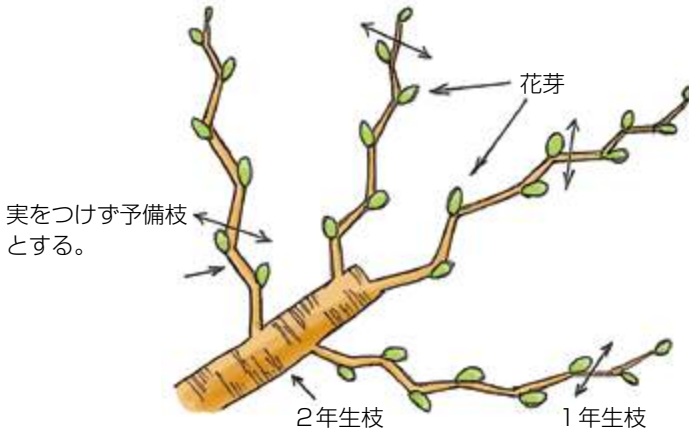
剪定は、落葉後から3月いっぱい位が最適です。今年伸びた新梢（1年生枝）を、基部から4～5芽残して切り戻します。この時、徒長枝は全部取り除かず枝の伸び具合をみながら切っていきます。翌春、先端の芽からは徒長枝気味の強い発育枝が伸び出しますが、基部の方の芽は、10cm位伸長して、その頂部に花芽をつけます。これが短果枝で、果実を実らせるためには、この短果枝を沢山出させる事が基本です。



果実は中果枝と短果枝につき、良い花芽は筆のように先がとがり基部が大きくなります。除芽は赤い芽の時に手で軽く押し取り、少し開葉してきたときはハサミで除去します。

②ブドウ

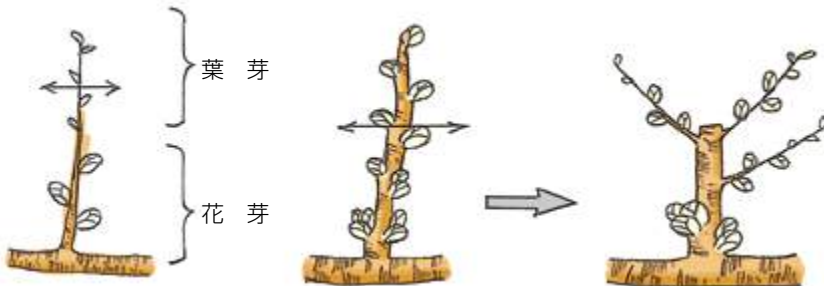
ブドウはよほど貧弱な枝でない限り、たいてい新梢の各葉腋に花芽をつけます。剪定の時期は、北海道では秋口が良く、長い結果母枝（今年伸びた枝）で10芽内外、短い結果母枝なら枝の根元から4～5芽残して切り詰めます。ブドウは水揚げが早いので、春先の剪定は絶対に避けましょう。



③オウトウ

オウトウは、その年の伸びた枝の腋芽が花芽になり、翌年に開花結実します。短い枝に多く結実しますから、短果枝を多くつけるように剪定します。樹勢の弱い樹は夏剪定するとさらに弱くなるので、冬期に少し強く剪定します。樹勢が強い場合は、伸ばそうとする芽の1芽上で切り、間引き剪定を多くします。

結果枝の剪定



④リンゴ

剪定は2月～3月に行います。この頃になると花芽と葉芽を区別しやすくなります。剪定方法は、枝の分岐点で切る間引き剪定と、伸びている枝の途中で切る切り詰め剪定、また、切り返し剪定を主体とし、枝元まで日光が当たるようにします。短果枝・中果枝が多く出来る様にするために、急激な剪定は避けて主要枝や側枝は間引き剪定を主とした方が良いでしょう。太い側枝を更新するときは、基部側の小枝を2年～3年かけてはすし、小さくしてから切ります。一回で切ってしまうと徒長枝が出やすくなります。

⑤ブルーベリー

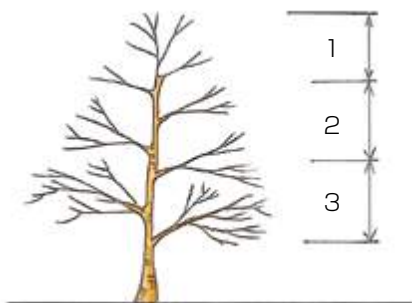
剪定は2月～3月頃に行います。若木のうち（2年～3年）は剪定の必要はありませんが、成木になったら古株や込みすぎた枝は間引くようにして新旧交代していきます。前年伸長した枝に果実がつき、又、強い枝には大きな果実がつくので太いしっかりした枝を残し貧弱な枝は切り取ります。長さ15～30cm位で花芽が3～5個ついた枝が良い結果枝といえそうです。

⑥ラズベリー・スグリ

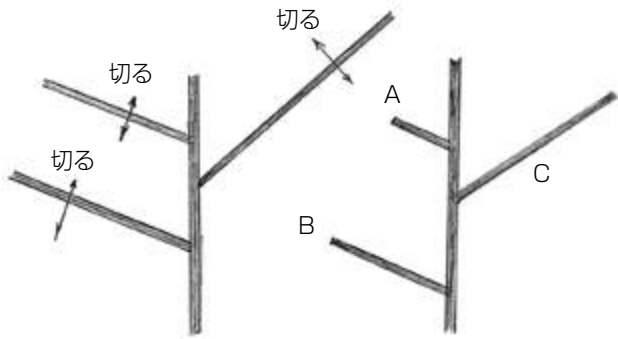
剪定は12月～3月頃に行います。耐寒性があり、夏冷涼な気候を好みます。スグリは、株が古くなると結実が悪くなるので、数年おきに株分けして若い枝を確保するようにします。ラズベリーは枝の先端を1/3～1/5位切り詰め、込みすぎた枝は間引くように剪定します。

8 剪定のポイント

樹冠を上部・中部・下部に分け枝葉の割合を1：2：3とする。

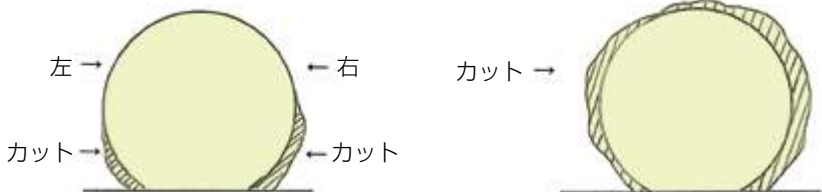


AとBの枝の長さの和がCになるようにするとバランスがとれる。



玉物は一方から見て刈るといびつになりやすいので注意が必要。
上・右・左・中央・背面から場所を変えて丸く刈る。

上から見て丸く刈り込む

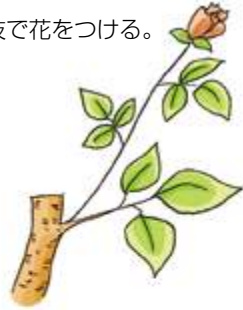


バラ

3枚葉の上で切る。



ごく短い枝で花をつける。



5枚葉の上で切る。



長い枝で花をつける。



ツルバラ



次の冬



花はつきにくい。

水平方向になる枝。

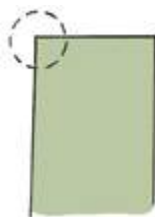


花がつく。

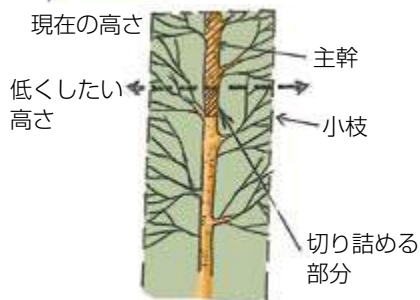


9 生垣の管理

- ・ 生垣とする場合、どこまで大きくするかを決めて、毎年の管理を行うようにします。
- ・ 生垣を作っていく場合、最初から最低限の刈り込みは行い、樹種により刈り込み回数は違ってきますが、年に2回～3回は必要です。
- ・ 刈り込みの回数が多いと、それだけ枝の分岐が多くなるので早く作れます。
- ・ 刈り込み時、デコボコがないように、上部は水平に、側面は垂直に刈り込み、刈り込み面や角がきれいな面・線が出る様に刈り込んでいきます。
- ・ 刈り込み面の上端部を少し中くぼみにすると角を作りやすいでしょう。



- ・ 高さを低くしたい時
低くしたい所の高さ近くの小枝を残し、主幹はさらに1段下まで切り下げるようにします。



- ・ 枝抜きは3年に1回位必要で、枯枝・からみ枝等を主体に取り除きます。この事により光を奥まで通し、風通しも良くなります。
- ・ 刈り込みするときは、刈り込み時期、刈り込み回数にもよりますが、早い時期であれば新葉と古葉の境を目安に刈り込みできます。また、枝葉を伸ばしたいときは、新葉を残し気味にして刈り込みます。
- ・ 枝が雪害や枯損で穴が開いた場合、近くの枝または隣の枝を誘引してやると、早めに修復できます。その他、隣家にはみ出したり、公道の通行に支障がでたり、徒長枝が目立つようなときは、樹種にもよりますが、春先の樹液流動期に右・左に押し曲げて幹や竹垣に結び止めると生垣の幅を小さく出来る事もあります。
- ・ 3年～5年に1回、根切り作業を行い徒長根を切断し、密生根をほぐし、新根の発生を促進させます。ただし、樹勢や地力により差異がありますので作業する前に樹体の状況を確認します。

10 庭木の再生・仕立て直し

樹木の再生・仕立て直しについては、すぐやらなければいけないのか、数年かけてやってもいいのかで、剪定の考え方が変わってきます。

これまでに記載したように、剪定の目的、樹木生育の基本、剪定の作業手順、剪定の時期、剪定の基本、剪定方法を良く理解して作業に取り掛かります。

特に剪定の基本、剪定方法、剪定の時期については注意が必要です。

基本的には、数年かけて小さくする気持ちで剪定していきます。

樹木も生き物です。極度のストレスを与えると、人間と同じで樹体に無理がかかり、分からないうちに衰弱する場合がありますので、一気に太い枝や幹を切断するような事はあまりおすすめできません。どうしても作業しなければならないときは、切断箇所や切口の適切な処理を確実にを行い、切口には癒合剤やチオファネートメチル剤等を必ず塗布します。



園芸に関するさまざまなご相談を お受けしています



「咲き終わった花の手入れはどうしたらいいの?」「肥料はいつ何をやればいいのか?」
こうした園芸に関するさまざまなご相談に、専門知識を持ち経験豊かな「緑の相談員」
がお答えします。直接お越しになるか、お電話でもご相談をお受けしています。

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）
12月29日から翌年1月3日まで

* * 緑の相談 * *

●相談日・時間

上記休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）

電話 811-9370

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）
12月29日から翌年1月3日まで

* * 緑の相談 * *

●相談日・時間

4月23日から11月5日の間の、
毎週木、日曜日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）

電話 772-3511

< 温室観覧料 >

大人（高校生以上）…………… 130円
中学生以下・65歳以上…………… 無 料
（敬老手帳などをご提示ください）

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

■開館時間

午前8時45分から午後5時15分まで

■休館日

毎週月曜日（月曜日が休日の場合は翌日）
11月4日から翌年4月28日まで

* * 緑の相談 * *

●相談日・時間

4月29日から11月3日の間の、
毎週水、土曜日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）

電話 883-2891

みどりの図書

各センターでは、園芸、緑化、
自然などに関する書籍や
雑誌類をそろえ、自由に
ご覧になることができ
ます。





財団法人札幌市公園緑化協会の 環境マネジメントシステム

— ISO14001の認証を維持しています —

当財団は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、市民に快適な生活環境を提供するために事業を行います。さまざまな事業の中で、私たち一人ひとは、「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持・改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用いたします。

財団法人札幌市公園緑化協会環境方針を基に、2008年度の目的・目標を設定しその達成に向けた取組を実施しています

2008年度 環境目的・目標

■事業部門

- ・一般ゴミの排出量を削減する
- ・緑化及び自然環境に関する普及啓発のための講習会、公園観察会などの参加者の増加を図る

■オフィス部門

- ・電気使用量を削減する
- ・事務用品のグリーン購入率の向上を図る
- ・民有地緑化と市民の緑化意識の高揚を図るための事業を行う

このほか、公園の管理に伴って生じる、剪定枝、刈草、落ち葉などの植物系廃棄物は、チップ、堆肥などに資源化して再利用する活動を日常の管理の中で取り組んでいます。



基本理念

地球上で長い年月をかけて地上の酸素を供給し、また多様な生物の食物連鎖の要として生命の営みを支えてきたのは植物であり、「緑」です。私たち人間が生活を営む社会も、この「緑」を抜きにして語ることはできません。

人間社会は、産業革命以降、大きく変化し、特にこの数十年間に科学技術の進歩とともに社会全体が急速な発展をとげました。その結果、私たち人間の生活は機能的にも物質的にも豊かになりました。

しかし、人口の増加や人間活動の増大などによって資源やエネルギーの消費は急速に増加し、地球環境の復元力を上回る大量消費が、地球温暖化、砂漠化、酸性雨、海洋汚染、熱帯林の減少、野生生物種の減少など、環境問題を深刻化させています。

今すぐ私たちが環境問題を真剣に考え、行動を起こさないと、次世代の生存をも危うくしてしまいます。

財団法人札幌市公園緑化協会は、札幌市の公園緑地の良好な管理運営と緑化の普及啓発を図り、市民に快適な生活環境を提供するために事業を行います。私たち一人ひとり、かけがえのない地球の構成員として「緑」の創出・保全を図り、地球環境の維持と改善に最大限努力いたします。

この運営の基本的仕組みとして、環境マネジメントシステムISO14001を活用いたします。

環境方針

財団法人札幌市公園緑化協会は、「緑」を通じて快適な生活環境づくりに寄与していくうえで、日々の事業活動において環境負荷の少ない社会の形成に努めます。

1 環境経営の推進

環境マネジメントシステムを継続的に改善し、経営管理の一環として環境経営の推進に努めます。

2 環境マネジメントシステムの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に努力するとともに、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図っていきます。

3 環境意識の啓発

職員をはじめ、事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して、地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

4 環境の維持・改善

事業活動とオフィス活動において、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減に努め、また、環境に配慮した商品の調達と購入を推進し、環境負荷の低減、地球環境の維持・改善に努めます。

5 環境汚染に対する危機管理の徹底

事業活動に伴って生じる環境汚染及び事故を未然に防止するとともに環境関連の法令を順守し、環境汚染の危機管理を徹底します。

6 法的及びその他の要求事項の順守

環境側面に関係して適用される法的要求事項及び財団が同意するその他の要求事項を順守します。

この環境方針は全職員及び財団のために働く全ての人に周知徹底するとともに、外部に公表いたします。

2007年4月1日

財団法人札幌市公園緑化協会

理事長

浅川昭一郎

札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえない充足感を与えてくれます。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰に包まれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など私有地の緑化が不可欠です。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様から寄附をいただいたお金を積み立て、その果実(利子)で私有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を実施しています



記念樹プレゼント

札幌市民を対象に、結婚、出産、新築などの人生の節目を記念する慶事に対して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復はがきで、返信用はがきが引換券となります。

ツタ苗の補助

対象：市内の住宅、事業所等の壁面、法面など。

補助数：植え込み予定の半数(最大15本まで)

申し込み：春秋の年2回。



フラワーポットの貸し出し

対象：市内の町内会、自治会、商店街などの民間団体

規格：70cm×24cm×20cm

貸出条件：3年間継続して設置してください。
貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポットあたり5株提供しますが、次年度以降は、利用団体において用意してください。

申し込み：年1回春のみ



さっぽろ緑花園芸学校

「さっぽろ緑花園芸学校」は花や緑を通じて地域や社会に貢献できる都市緑化のサポーターの養成を目的に平成20年4月に開設しました。

カリキュラムは四季(4クォーター)に分けて、講義46回・実習25回で構成しています。一年間を通じて全ての講義・実習が学べる「通年受講」と、選択した講義のみを受講する「講義選択受講」の受講形態があります。

講義では、各分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、ボランティア、園芸、緑化技術、維持管理、デザイン、環境、福祉など、幅広いテーマで花や緑に関する知識を習得します。



講義のようす(札幌エルプラザ)

「通年受講」にはテーマごとに3つのコースがあり、各コースの目的に沿った実習が行われます。

- Aコース：ガーデニング、街路ます・花壇の植栽や管理など地域の景観を整える活動、イベントの企画運営などのボランティア活動を担う知識と技術の習得。
- Bコース：公園の芝生や樹木の管理、観察会や展示会といったイベントの企画運営などのボランティア活動を担う知識と技術の習得。
- Cコース：地域の活性化を促すコミュニティガーデンの管理運営、園芸を福祉に役立てるための活動、イベントの企画運営などのボランティア活動を担う知識と技術の習得。



第42回（平成20年度）

緑の絵コンクール



大賞作品

小野 柚香さん（札幌市立みずほ小学校 5年生）

第42回緑の絵コンクールは小学生の部では53校1,832点、中学生の部では20校317点、計2,149点の応募があり、審査の結果、小学生の中から小野柚香さん、中学生の中から高瀬百合渚さんの作品を大賞作品として選考しました。

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小学生・中学生を対象として札幌市環境局みどりの推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。



大賞作品

高瀬 百合渚さん（札幌市立新琴似北中学校 2年生）

第20回（平成20年度）

緑と花のフォトコンテスト

グランプリ作品



作品名 **「宵の平岡梅林」**
(平岡公園)

撮影者 **阿部 和夫**さん

ーグランプリ作品審査講評ー

黄昏時の梅林のライトアップと、宵の梅香を楽しみに訪れた大勢の方々の様子が余すことなく捉えられています。

ともすれば、作品として表現しづらい薄暮の時間帯ですが、水銀灯を手前に配置することで、ライトアップされた梅林の広がりがいっそう際立ち、とてもスケールの大きな作品に仕上がりました。

公園を訪れた方々の歓声、雑踏の音が聞こえてきそうな臨場感のある素晴らしい作品です。グランプリ受賞おめでとうございます。

第20回緑と花のフォトコンテストには、四つ切り部門に56名150点、サービスサイズ部門に50名235点、計106名385点の力作が寄せられました。

四つ切り部門 優秀賞



作品名「**落ち葉の大集合**」
(大通公園)

撮影者 **今野 実**さん



作品名「**楽しいね**」
(青葉中央公園)

撮影者 **大谷 玲子**さん



作品名「**水辺を楽しむ子供達**」
(北海道大学構内)

撮影者 **太田 誠二**さん

サービスサイズ部門 優秀賞



作品名「**冬仕度**」
(中島公園)

撮影者 **山崎 久子**さん



作品名「**夕べの半月**」
(モエシ沼公園)

撮影者 **長岡 秀文**さん



作品名「**春うらら**」
(中島公園)

撮影者 **遠藤 久栄**さん

平成21年度も第21回緑と花のフォトコンテストを実施し、札幌市内の公園や緑地における、緑や花の魅力・美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した作品の募集を予定しています。(応募締切：平成21年8月末日)

平成20年度札幌市都市緑化基金事業報告

1 植樹等による民有地緑化事業

(1) 記念樹プレゼント

札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝いに際して、自宅の庭等で大切に育てていただくことを目的に、事前応募による苗木のプレゼントを行いました。

■配付月日 春季：平成20年5月17日(土)・18日(日)
秋季：平成20年10月18日(土)・19日(日)

■配付場所 百合が原公園

■配付苗木及び本数

春 季		秋 季	
配付苗木名	配付本数	配付苗木名	配付本数
ライラック (花色：白色)	66本	ライラック (花色：白色)	26本
ライラック (花色：紫色系)	86本	ライラック (花色：紫色系)	35本
鉢植え向きライラック	191本	鉢植え向きライラック	78本
エゾムラサキツツジ	270本	クロフネツツジ	148本
ドウダンツツジ	326本	エゾムラサキツツジ	100本
ヒノデツツジ	361本	ドウダンツツジ	138本
ナツツバキ	281本	ナツツバキ	110本
ヤエザクラ	168本	ヤエザクラ	38本
エゾヤマザクラ	146本	エゾヤマザクラ	42本
ブンゴウメ	184本	ブンゴウメ	77本
プルーン	250本	サクランボ	68本
サクランボ	166本	ラズベリー	114本
ハスカップ	327本	ジューンベリー	153本
ジューンベリー	454本	プルーン	143本
ブルーベリー	1,115本	ブルーベリー	600本
小 計	4,391本	小 計	1,870本
合 計	6,261本		

※平成20年度配付した6,261本のうち、4,255本（春季2,910本、秋季1,345本）については、札幌市から苗木の提供を受けて配付しました。

(2) 緑化ツタ苗補助

家庭及び事業所等の壁面緑化を計画している札幌市民に対して、植込み予定数の半数（最大15本まで）のナツツタの苗を補助し、壁面緑化の推進を図りました。

	春	季	秋	季	合	計
補助件数	25件		11件		36件	
補助苗数	186株		62株		248株	
緑化延長	414 ^{メートル}		125 ^{メートル}		539 ^{メートル}	

(3) フラワーポットの貸し出し

町内会、商店街等の緑化活動に対して、身近な緑の創出と花壇造成の一助となるようフラワーポットを3年間無料で貸し出しました。（貸し出し初年度のみ花苗と培養土を提供）

区	分	団体数	貸出数	備	考
町	内	9	600基	中央区1,北区3,東区1,西区2,手稲区2	
自	治	4	235基	北区2,豊平区1,西区1	
商	店	2	165基	北区2	
合	計	15	1,000基	※新規貸出分のみの合計数	

2 緑化推進に関する普及啓発事業

(1) 第42回緑の絵コンクール

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の小学生・中学生を対象とした、緑をテーマにした絵画コンクールを札幌市との共催により実施し、優秀作品100点及び優秀校2校を選考しました。

■応募総数 小学校 53校 1,832点
中学校 20校 317点

■表彰式 平成20年10月25日(土)
ホテルノースシティにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与

■入賞作品展示 期間：平成20年10月24日(金)～10月28日(火)
場所：札幌地下街オーロラコーナー

(2) 第20回緑と花のフォトコンテスト

緑化意識の高揚と啓発を図るため、市内の公園・緑地での花と緑、自然とのふれあいなどをテーマにフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、優秀賞6点（各部門3点）、入賞20点（各部門10点）を選考しました。

■応募総数 106名 385点 四つ切り部門 56名 150点
サービスサイズ部門 50名 235点

■表彰式 平成20年10月14日(火)
札幌すみれホテルにおいて、入賞者に賞状及び副賞を授与

■入賞作品の展示 期間：平成20年10月17日(金)～10月23日(木)
場所：札幌地下街オーロラコーナー

3 都市緑化サポーター養成事業

(1) さっぽろ緑花園芸学校

花や緑を通じて地域や社会に貢献できる都市緑化のサポーターの養成のため、さっぽろ緑花園芸学校を開設しました。

■内 容 一年間を通じて全ての講義・実習が学べる「4クオーター受講」と、選択した講義のみを受講する「個別講義受講」の2つの受講形態により運営しました。

さらに、「4クオーター受講」にはテーマに沿った3つのコースを設定し、緑化サポーター養成のための事業を行いました。

- Aコース 地域の景観を整える活動、街路ます花壇などの植栽計画や維持管理の活動、市民の庭づくりや園芸相談、園芸講習会の講師などを担える技術の習得。
- Bコース 公園の維持管理やイベントを企画運営する活動、ボランティアコーディネーターとしての活動を担える技術の習得。
- Cコース コミュニティガーデンの管理運営への参加や新たな設置、福祉園芸のためのガーデン運営の活動を担える技術の習得。

■受講者数 通年受講者数(講義46回・実習25回を一年間を通じて学ぶ)：36名
講義受講者数(講義46回の延べ人数)：2,015名

■期 間 平成20年4月2日(水)～平成21年3月25日(水)

■会 場 講義：札幌エルプラザ 2階 環境研修室など
実習：百合が原公園、豊平公園、大通公園、前田森林公園、平岡公園など



平成20年度札幌市都市緑化基金への寄附につきましては、右表に掲載の皆様のほか、設置している募金箱等へもたくさんの募金を頂戴いたしました。

この紙面をおかりして厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

これからも札幌市の緑が市民の生活の中から生まれ、緑豊かな札幌の街並みが創り出されるよう、今後とも様々な事業を企画してまいります。

平成20年度 札幌市都市緑化基金への寄附	
20年4月	社団法人日本バーテンダー協会札幌支部
20年5月	スノースケープモエレ実行委員会
20年4月	北海道オフィス・マシン株式会社
20年9月	株式会社第四銀行札幌支店
20年10月	有限会社島田
20年11月	ウオークさっ歩ろバス実行委員会
20年11月	小黒 敬三
20年12月	永野 優
20年12月	北海道造園コンサルタント・王子木材緑化グループ
20年12月	ジェイ・アール北海道バス株式会社
21年3月	財団法人札幌市公園緑化協会 2つのエコキャンペーン
21年3月	近藤 聖・富田 照夫・千尋 昇・金野 滋典・高畑 修・鈴木 貢

第20回 緑と花のフォトコンテスト事業への寄附	
20年5月	札幌農林株式会社
20年5月	北海道オフィス・マシン株式会社
20年5月	カメラの川田

平成20年度 フラワーポット貸し出し事業への寄附	
20年12月	札幌市緑の募金

緑あふれる街づくりのため札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いします



募金箱の設置場所

百合が原公園・豊平公園・厚別公園・農試公園・川下公園・前田森林公園
大通公園・円山公園・平岡公園・モエレ沼公園・豊平川さけ科学館・
各区役所・札幌市環境局みどりの推進部

寄附の振込先 金融機関

振込先：北洋銀行 札幌市役所支店 普通預金 251967
口座名義人：ザイ) サッポロシコウエンリョッカキョウカイ
財団法人札幌市公園緑化協会

●●● 基金に関するお問い合わせは ●●●

札幌市環境局 みどりの推進部 みどりの推進課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階
電話 011-211-2522

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目 ニューワンビル4階
電話 011-211-2579



編集・発行 財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4階
電話 011-211-2579

<http://www.sapporo-park.or.jp/>

すすくみどりは、財団ホームページからダウンロードできます。

この冊子は再生紙を使用しています